

2020年1月27日

## 都市ガス事業者初・4回連続の最高ランク取得 日本政策投資銀行「DBJ BCM格付」において

京葉ガスは、防災や事業継続への取り組みを評価する株式会社日本政策投資銀行（DBJ／本店：東京都千代田区、代表取締役社長：渡辺一）の格付け融資制度「DBJ BCM格付」において、2015年、2016年、2018年に続き、4回連続の最高ランク評価を取得しました。



日本政策投資銀行 岸本常務(左)より認定証を授与される当社社長・羽生(右)＝1月24日、京葉ガス本社

当社は東日本大震災の経験を教訓に、中期経営計画の中で保安・防災対策の高度化、供給基盤の強靱化を重点課題と位置付け、全社的な防災・事業継続体制を構築・強化しています。今般、この取り組みが評価され、同行の「DBJ BCM(※)格付」融資制度において最高ランクの評価を取得しました。これで当社の「DBJ BCM格付」の最高ランク取得は4回連続となります。なお、都市ガス事業者による4回連続での最高ランクの格付取得については、当社が初めての事例となります。

これまでの評価に加え、今回の格付け審査では主に以下の点で高い評価を受けました。

- (1) 中期経営計画の重点戦略として「供給基盤の強靱化と地震防災対策の強化」を位置づけ、中長期的な視点でガス導管の耐震化に代表される設備対策等に取り組み、事業戦略と一体でBCMの高度化を図っている点
- (2) 千葉県の北西部地域に密着したインフラ事業者として、自治体等との定期的な協議や訓練を通じた地域防災力の向上に貢献していることに加え、2018年度から新たに近隣同業他社との相互支援協定を締結する等、様々なステークホルダーとの連携体制強化に取り組んでいる点
- (3) 近時の災害対応を通じて実際の復旧時間やBCP(※)上の課題を認識するとともに、毎年度テーマを設定した多様な事業継続訓練を通じてボトルネックの見直しや早期復旧に向けた対策を実施し、BCMの実効性の向上に取り組んでいる点

当社は今後も地震災害をはじめとする防災対策および事業継続対策に力を入れ、引き続きガスの安定供給と保安の確保に向けた取り組みを強化していきます。

※BCM: 事業継続マネジメント(Business Continuity Management)

※BCP: 事業継続計画(Business Continuity Plan)

